

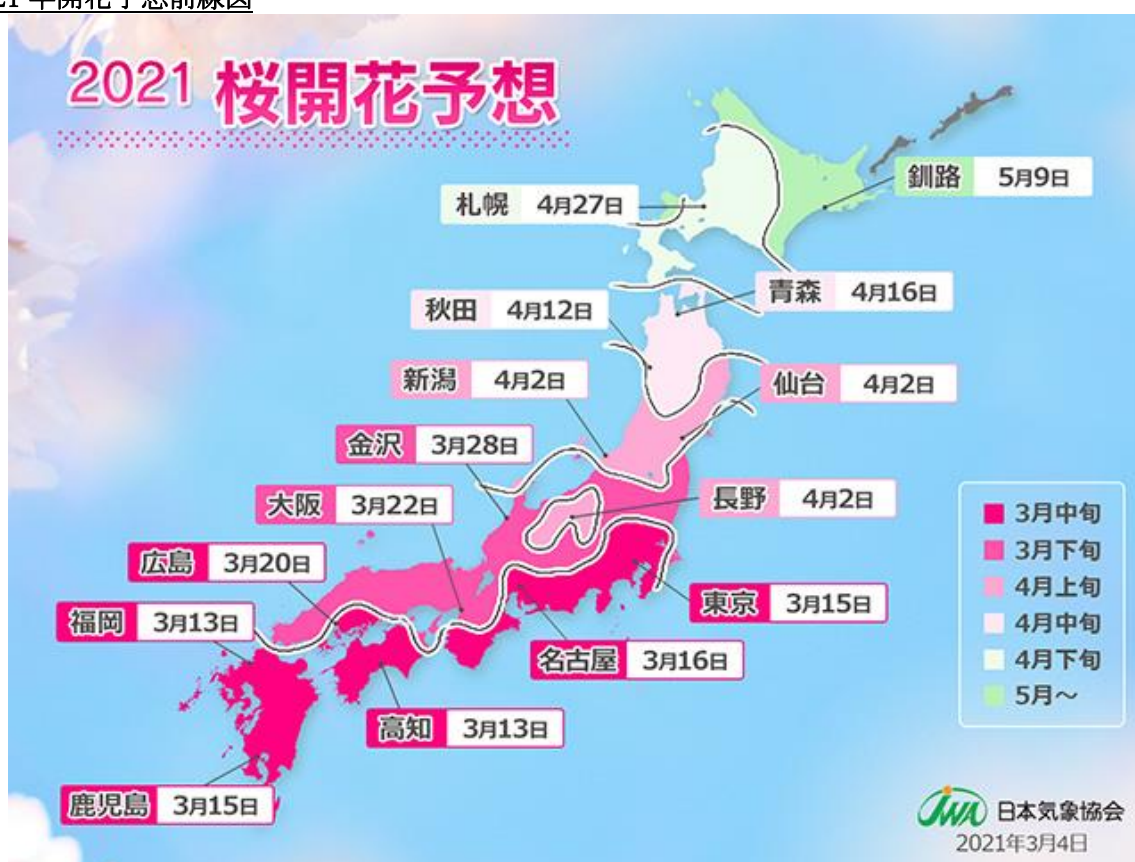
【報道関係各位】

2021年3月4日
一般財団法人 日本気象協会

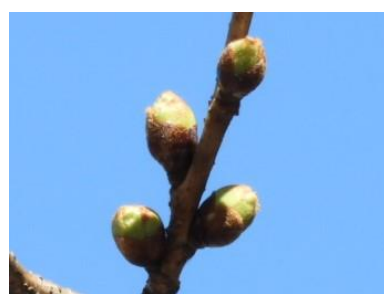
2021年桜開花予想(第4回) 開花トップは福岡など3月13日！東京は15日に開花！

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本全国 87 地点の桜[ソメイヨシノ ほか]の開花予想(第4回)を、2021年3月4日(木)に発表します。なお、今回からは満開予想日も発表します。

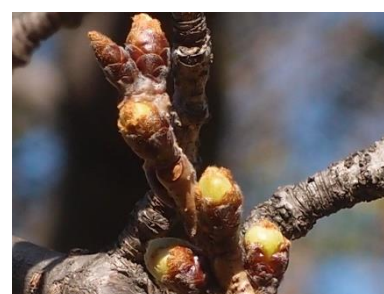
■2021年開花予想前線図



高松の標本木(3月1日撮影)
茶色い先端が少し割れはじめ、この時期としては生長が早いように感じます。



東京の標本木(3月3日撮影)
周期的に訪れる暖かさにより、先端が緑色に変わり、膨らんできています。



福岡の標本木(3月3日撮影)
緑色のつぼみが多く見られる状況となっています。



■2021年 開花予想日・満開予想日(主な地点)

開花日

	地点	予想日	傾向	平年開花日	2020年	最も早い開花日
鹿児島県	鹿児島市	3月15日	かなり早い	3月26日	4月1日	3月15日(2013)
福岡県	福岡市	3月13日	かなり早い	3月23日	3月21日	3月13日(2013,2009)
高知県	高知市	3月13日	かなり早い	3月22日	3月24日	3月10日(2010)
広島県	広島市	3月20日	かなり早い	3月27日	3月22日	3月19日(2004)
大阪府	大阪市	3月22日	早い	3月28日	3月23日	3月20日(2018,2002)
愛知県	名古屋市	3月16日	かなり早い	3月26日	3月22日	3月17日(1990,1989)
東京都	千代田区	3月15日	かなり早い	3月26日	3月14日	3月14日(2020)
長野県	長野市	4月2日	かなり早い	4月13日	4月2日	4月2日(2020,2018,2002)
新潟県	新潟市	4月2日	かなり早い	4月9日	4月1日	3月30日(2002)
石川県	金沢市	3月28日	かなり早い	4月4日	3月26日	3月26日(2020,2002,1989)
宮城県	仙台市	4月2日	かなり早い	4月11日	3月28日	3月28日(2020)
秋田県	秋田市	4月12日	早い	4月18日	4月8日	4月7日(2002)
青森県	青森市	4月16日	かなり早い	4月24日	4月17日	4月14日(2015,2002)
北海道	札幌市	4月27日	早い	5月3日	4月30日	4月21日(2008)
北海道	釧路市	5月9日	かなり早い	5月17日	5月10日	5月6日(2015)

満開日

	地点	予想日	傾向	平年満開日	2020年	最も早い満開日
鹿児島県	鹿児島市	3月25日	かなり早い	4月4日	4月19日	3月26日(2013)
福岡県	福岡市	3月23日	かなり早い	4月1日	4月2日	3月22日(2013)
高知県	高知市	3月23日	かなり早い	3月30日	4月2日	3月19日(2018)
広島県	広島市	3月30日	早い	4月4日	4月3日	3月27日(2002)
大阪府	大阪市	3月30日	早い	4月5日	4月3日	3月26日(2018)
愛知県	名古屋市	3月28日	早い	4月3日	4月1日	3月27日(2018)
東京都	千代田区	3月22日	かなり早い	4月3日	3月22日	3月21日(2002)
長野県	長野市	4月7日	かなり早い	4月17日	4月13日	4月5日(2002)
新潟県	新潟市	4月7日	かなり早い	4月14日	4月7日	4月4日(2002)
石川県	金沢市	4月2日	かなり早い	4月10日	4月1日	4月1日(2020,2004,2002)
宮城県	仙台市	4月6日	かなり早い	4月16日	4月3日	4月3日(2020,2002)
秋田県	秋田市	4月16日	早い	4月22日	4月15日	4月12日(2002)
青森県	青森市	4月21日	かなり早い	4月29日	4月21日	4月16日(2002)
北海道	札幌市	4月30日	かなり早い	5月7日	5月2日	4月25日(2008,2002)
北海道	釧路市	5月12日	かなり早い	5月20日	5月13日	5月8日(2015)

※()内の年はおおむね過去30年の最も早い開花日、満開日です

■開花と満開の傾向

桜の開花は全国的に平年より早くなるでしょう。多くのところで平年より10日前後早く開花し、15日以上早まる場所もある見込みです。記録的な早さとなる場所もあるでしょう。

今年の開花は、3月13日に福岡、高知からスタートする見込みです。14日には熊本や宮崎、15日には大分、長崎、佐賀、鹿児島、松山、東京で開花する見込みです。九州地方では15日までに全地点で開花するでしょう。その後、16日には岐阜と名古屋、横浜、17日には熊谷、その後も高松、静岡、前橋、甲府などで続々と開花するでしょう。3月末までには九州から関東、北陸にかけて広く開花し、4月上旬には東北南部、中旬には東北北部で咲き始める見込みです。桜前線は4月下旬に津軽海峡を渡り、函館では4月24日、札幌は27日に開花するでしょう。



この冬(12月～2月)は、たびたび強い寒気が流れ込み、全国的に厳しい寒さの日がありました。日本海側では北陸を中心に記録的な大雪となりました。このため、桜の花芽の休眠打破は、順調に行われたと見られます。一方、1月半ばごろからは平年を上回る暖かさの日も増えてきました。3月以降も、全国的に気温は平年並みか高く、花芽の生長が促されると見込まれるため、開花予想日は全国的に早いでしょう。

満開日は、おおむね開花日の1週間から10日くらい後で、全国的に平年より早い見込みです。関東、東北南部では平年より10日以上も早いところが多いでしょう。予想満開日が最も早いのは東京の3月22日で、平年より12日早くなりそうです。3月下旬には九州から関東で満開になるところが多い予想です。

※ 桜の開花・満開の統計開始は1953年

※ 気温の統計開始は1946/47年

※ 休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

※ 気温が高い場合、元々温暖な地域は現在より開花が遅れ、元々寒冷な地域は現在より開花が早まる傾向があります

全87地点の桜の開花予想日はこちら：<https://tenki.jp/sakura/expectation/>

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

かなり早い：平年より7日以上早い

早い：平年より3日から6日早い

平年並：平年との差が2日以内

遅い：平年より3日から6日遅い

かなり遅い：平年より7日以上遅い



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1:桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1:以下の日程を予定しています。2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 1月28日(木)	第2回 2月10日(水)	第3回 2月25日(木)	第4回 3月4日(木)
第5回 3月11日(木)	第6回 3月18日(木)	第7回 3月25日(木)	第8回 4月1日(木)
第9回 4月15日(木)	第10回 4月28日(水)		

Q2:開花日・満開日の基準は？

A2:気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた(枝ではなく幹や根から咲く花は5～6輪に含めない)状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態(同時に咲いている状態である必要はない)となった最初の日です。

Q3:予想する地点数は？

A3:2月中は49地点、3月以降は全国で87地点の予想を発表します。予想地点87地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる34地点となります。

Q4:日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4:花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で15年目の取り組みです。

Q5:開花予想に使うデータは？

A5:以下データを使用しています。

- ① 前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ② 予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。